

日時：2014年7月19日(日) 18:00～20:30

場所：当団体事務所（中野ニューグリーンビル301号室）

参加者：20名

司会：若森

1. この間の経過の報告

(1) 労協（ワーカーズコープ）の岡安さんを訪問、意見交換 —— 丸山さんが報告、要点は下記。

(2) 郵貯銀行に振替口座と普通口座開設 —— 若森が報告

いずれも口座名＝ソウル宣言の会（読み ソウルセンゲンノカイ）

①【振替口座記号番号】 00100-2-601472 01 東京貯金事務センター

②【店名】〇一八（読み ゼロイチハチ）【店番】018

【預金種目】普通預金 【口座番号】 3718134

(3) 「ソウル宣言の会(準)」の方々に、m1にて、呼びかけ文書、運営規約等、本日の会議での論点などを記した文書を送付 —— 別紙

(4) 呼びかけ人を承諾された方は順次記載し、m1に登録

2. 報告事項

(1) 韓国の準備状況

①丸山茂樹氏と姜乃榮（カン・ネヨン）氏とのメールでのやりとり —— 別紙参照

②韓国のi c o o p研究所の金亨美さんより、日本語の2014パンフレットを頂く（別冊）。

③金亨美さんによると「2014 Global Social Economy Association」には、自治体以外に会員組織のある社会的経済組織の協議体か、ネットワーク組織も参加するように呼びかけているとのこと。

また、その後、名称はフォーラムに戻った模様。こちらも組織委員会にあわせる。

④今の「ソウル宣言の会」ではそれに当てはまるかどうかは微妙。②にあるような団体と一定連携した立場での参加になるか？

*金亨美さんが懸念されている様に、我々の『ソウル宣言の会』は自治体でも、また社会的経済の組織や連合会でもないので、ソウル市が対象にしている正式参加団体にエントリーするのは、スナリとはいかないう可能性が有る。

1)そこで、文字通り社会的経済である、ワーカーズ・コレクティブ・ネットワーク・ジャパン、その傘下の神奈川や東京や千葉の連合会に我々の会の参加団体になってもらう。

2)その他、朴元淳市長と親しい関係をもつNP0we21j ジャパンにも参加団体になってもらう。

3)そこで組織委員会に対し、個人と社会的経済団体とをコーディネートする立場として、「ソウル宣言の会」登録してもらいたいと希望を出す。

4)仮に、公式登録団体にならなくても連絡調整団体として、認定してもらい、情報交換、提案など出来るように申し入れる、等々。

→ 上記のことを考慮しつつ組織委員会への要望書及び提案書の準備を、丸山氏、井上氏、牧氏、若森で進めることを確認。

(2) 日本の各団体の動きと連携の模索 —— それぞれから

①労協・協同総研：7月9日(水)に、丸山さん、若森で岡安理事長を訪問、意見交換を行う。

•11月のソウル大会への参加準備状況

*韓国の友好団体と、一つの分科会を受け持つことが確定、その準備を行っている。

- 11月22～23日に福岡市で行われる集会の準備状況、
 - *チラシ等はすでに完成、2000人規模の集会を予定している。
- 「ソウル宣言の会」が、11月のソウル大会へ参加をするには、韓国の協同組合研究所、IC00P等に、至急問い合わせるのがよい等の助言を頂く。
- これからの連携、協力を確認

②共同連

日本共同連と韓国障害友権益研究所の主催による「社会的企業世界フォーラム2014」を10月12日～16日にソウルのホテルで開催する、日本から約40名が参加予定との事。

*社会的企業を標榜する立場として、米国型とヨーロッパ型がある。社会連帯経済—非営利の徹底した企業の立場である。

*現状の資本主義から排除される(た)人々(障害者、マイノリティ等々)が、労働者になれる社会を。そのような視点で運動を行っている。

③大阪の共生型経済推進フォーラム：2014年8月2日(土)13:30～5:00開催

*共催団体となる。

*丸山茂樹さんが講演：ソウル発「グローバル社会的経済フォーラム」への連帯の道を探る

④井上さん、丸山さんの伝手で川崎市(久住さん)と接触し、意見交換を行う

川崎市の参加の件は別紙(姜乃榮(カン・ネヨン)氏と、丸山茂樹氏のやりとり)にあるように副市長と政策統括部長、或いは後者のみでも参加する方向で進んでいる。川崎市の取り組みについて既に先方に情報を送り、発表に用意があるとの事。川崎以外にも自治体が参加する可能性があれば同じセッションで発表するように働きかける。

⑤その他の地方自治体、団体との連携の検討

*候補として、世田谷区等

→ 川崎市含めて接触を持ち、参加を呼びかけていく。

(4)日本希望製作所の韓国ツアー企画の件 8月3日(日)～6日(水)

今の所、丸山茂樹氏と井上良一氏の2名が参加を希望している。朴元淳市長やチョ・ヒヨン教育監との面会もあるので、この機会にDVDメッセージの撮影録音が出来ればと考えている。そのために技術を持つ人の参加が必要であり、誰か適任者を募りたい。

なお、希望製作所のツアーにビデオ・メッセージを収録する人を派遣する場合には、旅行費用あ(約5万円)と現地参加費(宿泊・移動・食費・通訳など)8万円で計13万円程度必要。

また、ビデオとは別に我々の「プレ・フォーラム」に韓国の組織委員会の代表あるいは社会的経済支援センターの幹部を招待したい。ソウル市では2名の来日を要望している。

→ 招聘者2名(現在ソウルしからあがっている候補は、ソウル市社会的経済課長、社会的経済支援センター長)を、旅費と宿泊費は当方で持つとして検討。

3. ソウル宣言の会の活動方針とツールの確認

(1)「ソウル宣言の会」の立場

→ 効率と利益を最優先するために、自然との共生、人の尊厳を踏みにじる、現在の社会のあり方を批判し、それにとって変わる、新たな社会・生活空間創造に向け、持続的に問題提起を行い、社会の変化に向けて実践していくネットワークを創造する。

→ それは孤立と分断を乗り越える、日本におけるネットワークの創造。当然、自治体も対象とするが、日本の現状を考えて、協同組合、NPO、NGO等の非営利組織、社会的企業のネットワーク作り。

(2)現在の呼びかけ人の確認

- 追加者を確認、今後もそれぞれが声かけを行い募る。
- 規約の正会員は、呼びかけ人を指すこととする。規約をその様に訂正する。

(3)今後の働きかけの個人、団体、地方自治体等、に関して

- 呼びかけ人は幅広く呼びかける（JA・生協・労働組合・NPO・NGO等の役員、企業主、等々）。また、若い人、女性を意識して募る。
- 主だったところ（特に団体）を早急にリストアップして、分担してあたる。
- 呼びかけ人の記載は考慮する

(3)財政目標と予算の作成

①会費

- 別紙、運営細則を確認

②運営費

- 交通費などを自弁とすると、ソウル市長のビデオレター等の作成、11月2日の日本のプレフォーラムチラシ、韓国の招待者含めて概算で70～80万円くらいか。しかし全国で報告集会を開くととなると、そうはいかない。なお、中野事務所、及び明大リバティタワーの使用料は、『明治大学・日欧社会的企業比較研究センター』（中川雄一郎教授、柳沢 敏勝教授）と共催することにより無料としていただいた。
- 予算規模はもう少し様子を見て、今後の会員の集まり具合、反響で判断。しかし最低50万円規模は確保する。

4. 11月2日（日）のプログラムの検討

“日本から「ソウル宣言に込めて」” —— 新たな協同の発見 ——

*二団体共催：『明治大学・日欧社会的企業比較研究センター』
『ソウル宣言の会』

(1)日程・場所 11月2日（日）13：00～17：00 明大リバティタワー

以下、概略案

- ①一部 —— 基調講演：2014年ソウル宣言の今日的意義を考える
講師候補：松岡 公明氏（農林年金 理事長、協同組合学会副会長、前JC総研理事）
- ②二部 —— 「2014年ソウル宣言」を意識した、各地の実践報告
報告者候補
保坂 展人氏（東京都世田谷区長）
加藤 善正氏（岩手県生協連会長）
上原 公子氏（脱原発首長会議・事務局長、前国立市長）
武 健一氏（関西生コン労組委員長）
津田 直則氏（共生型経済推進フォーラム理事長）
郡司 真弓氏（前NPO WE21ジャパン理事長）
吉原 毅氏（城南信用金庫理事長）
菅野 芳秀氏（置賜自給権構想）
→ 上記の人を候補に、呼びかけ人の伝手を通して打診する。

(2)その他

①韓国の朴元淳市長のビデオ・メッセージ

②ソウル市からの招待者の発言

5. 当会（日本側）から韓国側への要望事項の発送

(1)参加の手続き・窓口の確認

(2)分科会の主宰は可能か、また、その場合の案

＊前段でも記したが、組織委員会に単独で登録されるにはハードルが高い。しかし我々の会には柳沢敏勝協同組合学会会長はじめ、日本を代表する協同組合、社会的経済の研究者がいますので、協同組合と社会的経済に関する研究者のセッションを設定してほしい旨、伝えると共に、発表する用意があると提案する。

(3)見学・交流会などの希望

→ 上記を組織委員会への要望書、及び提案書として、丸山氏、井上氏、牧氏、若森でまとめる。

6. ソウルへの参加者の募集とその要項の作成

(1)ツアーの日程・応募要項（旅行社の選定）

(2)予算等

→ 次回提案

7. 次回の呼びかけ人会の設定（日時、内容）

(1)日時：8月23日(土)18:00～、 於：中野事務所